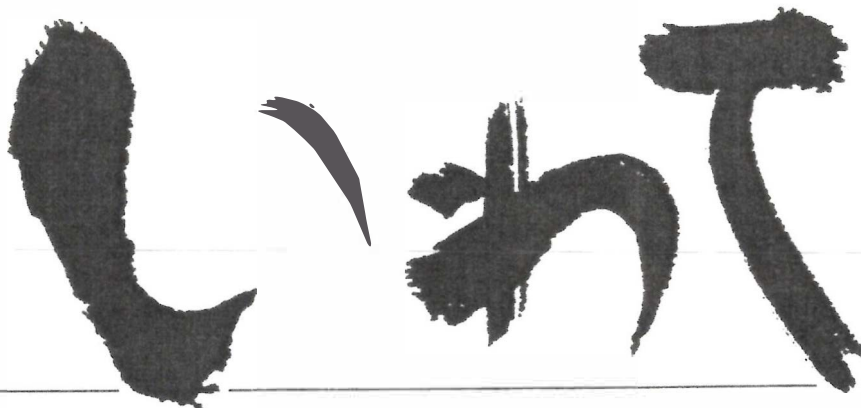




月刊 (令和8年9月10日発行)

会報

2026
No. 547

9

編集・発行 一般社団法人岩手県聴覚障害者協会
〒020-0831 盛岡市三本柳13 地割42番1号
FAX(019) 601-2021 TEL(019) 601-2020
E-mail:iwaterouakyokai2007@brown.plala.or.jp

主催 一般社団法人岩手県聴覚障害者協会

第48回

岩手県聴覚障害者福祉大会

令和8年

日時

11月1日 日

午前10時00分～午後1時00分
(受付: 午前9時30分～)

会場

総合営農指導拠点センター

〒025-0052 岩手県花巻市野田335番地2

TEL: 0198-23-1400 FAX: 0198-23-1403

参加費

- 会員・一般 1,500円
- 中高生 1,000円
- 保育(要申込) 500円

次第

- 10:00 大会式典
表彰/基調報告/大会宣言/大会決議
- 11:15 記念講演
- 12:30 引継ぎセレモニー

講演テーマ

「日本手話の凄さ」

講師

今井彰人氏(俳優)

プロフィール

2009年、日本ろう者劇団に入団。呉美保監督『ぼくが生きてる、ふたつの世界』(2024年)などに出演。現在は俳優活動に加え、監督や演出、講演活動など幅広い分野で活躍している。



9月23日は「手話の日」です！

いわて 手話フェス 2026

—手話でつながる、笑顔ひろがる—

岩手県福祉基金助成事業

**参加費
無料！**

手話通訳・
要約筆記
あり

手話が
初めてでも
大歓迎！

令和8年

10月24日（土）

10:00～16:00

キオクシアアイーナ 7階 アイーナホール&ホワイエ

入退場自由

◆

申込不要

どなたでも
参加できます！

午前の部
10:00～12:00

手話言語をテーマとしたシンポジウム

① ミニ講演

「手話言語の理解と
共生社会づくりに向けて」

岩手県聴覚障害者協会理事

② 行政説明

「県手話言語条例の趣旨と
行政施策の方向性」

岩手県保健福祉部
障がい保健福祉課

③ パネルディスカッション

「手話言語条例がつながる
共生社会実現の可能性」

多様な立場から意見を交わします

午後の部
13:00～15:30

手話に親しむ体験型イベント

① 手話クイズ

知ると楽しくなる！
手話クイズ

② ワークショップ

手話交流企画
「サイレント伝言ゲーム」

みんなで楽しむ
時間です！

同時企画
(ホワイエ)
10:00～16:00

いつでも立ち寄れるブース！

手話体験・
PRブース
手話にふれて、
楽しく体験しよう！

手話サークル
活動紹介
さまざまなサークルの
活動を紹介！

はじめての
手話レッスンコーナー
やさしく学べるミニレッスン♪
初めての方も安心！

展示&パネルコーナー
手話言語・協会・関係団体・
情報センター紹介

お問い合わせ

E-mail
info@iwate-deaf.or.jp

共催：一般社団法人岩手県聴覚障害者協会
協力：岩手県立視聴覚障がい者情報センター 他



第1回教養講座が開く

2026年7月5日(日)、ふれあいランド岩手ふれあいホールで、第1回教養講座「電話リレーサービス」の講演と登録会を行いました。参加人数は77名でした。

講師の吉田愛氏より、「電話リレーサービス」のしくみ、利用方法、利用料金、マナーや使用する場面など初めての方でも分かりやすい説明をしていただきました。

電話リレーサービスでは「手話リンク」というものもあり、岩手県では、岩手県警察が令和8年5月1日から県内すべての交番・駐在所で「手話リンク」の運用を開始していました。また、滝沢市も令和8年3月25日から「手話リンク」を導入していました。手話言語を必要としている方がためらいなく、電話できる環境に少しずつ近づいてきたと感じました。

講演が終わった後は電話リレーサービスの登録会を開き、登録したい方や登録はしたが、方法が分からないなど、この場で教えていただける良い機会だったと思います。

参加された方からアンケートの中では、「手話リンクのことを初めて知った」「遠隔サービスとリレーサービスの違いがわかった」「産婦人科への電話の例でオペレーターが自分の性とみなる場合の注意点がわかった」「ガラケーを使っている人はどうするか」等、手話リンクに対しては

「行政、病院、銀行、山小屋、無人駅等、イオンの中にも」導入してほしい等の意見もありました。

まだ課題はありますが、私自身も過去に一人暮らしから実家に引っ越しする際、電話対応をきこえる人をお願いしていた経験があります。当時と比べて、今は耳が聞こえなくても自分で電話リレーサービスを使って電話できるという、過去に感じた一人暮らしの不便さが少しずつ改善されていると実感しました。

自分で電話できる環境を作ってくれたことに感謝し、これからも色々な課題を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

(芳賀智美)



第52回東北ろうあ青年研究討論会 in いわて

東北ろうあ青年研究討論会は、開催地を岩手県として、7月11日(土)～12日(日)の2日間、キオクシアアイーナにて 講演会と東北青年部による企画を実施しました。

今年は東北6県から、前年を上回る47名の参加者が集まりました。2日間ともあいにくの大雨となりましたが、ご講演いただいた講師の先生をはじめ、ご参加いただいた皆さま、東北青年部の皆さま、手話通訳者・要約筆記者の皆さま、そして実行委員の皆さまに心より感謝申し上げます。



1日目は、宮城教育大学教授の松崎 丈氏を講師にお迎えし、『ろう学校の教育に私たち青年ができることは何だろうか』をテーマにご講演をいただきました。

講演では、「国語の授業における、きこえる子どもときこえない子どもの言葉の捉え方の違い」や、「きこえない子どもたちに合わせた教育方法」、「聴覚障害者の歴史」など、多岐にわたる内容について分かりやすくお話しいただきました。



教員だけでなく、普段教育に携わっていない私自身にとっても、多くの気づきや学びがあり、日頃から「相手に伝わる伝え方」について、改めて考える貴重な機会となりました。



講演後は交流会を開催し、それぞれの地元のことや各県の手話表現の違いなどを話題に、手話ペリを楽しみました。県を越えた交流が深まり、終始笑顔の絶えない和やかな時間となりました

2 日目は、東北青年部による企画を実施しました。



前半は、『あなたならどっち？究極の2択トーク』をテーマに、学校に関するさまざまな究極の2択について参加者同士で考えを交わしました。

それぞれの経験や価値観を共有することで、多様な価値観に触れ、新たな気づきや学びを得る機会となりました。

後半は、『もし自分が校長先生だったら？』をテーマにグループワークを行いました。参加者は「自分が校長先生だったらどんな学校にしたいか」を考え、ろう学校の環境整備や情報保障、授業のあり方などについて活発な意見交換を行いました。

参加者からはさまざまな視点やアイデアが出され、「なるほど!」「そんな考えもあるんだ!」といった驚きや共感の表情が多く見られました。終始活発な意見交換が行われ、大いに盛り上がる企画となりました。



2日間を通して、学びや気づきの多い、とても充実した東北青研となりました。筆者自身もしばらく余韻に浸ってしまうほど、印象深い2日間でした(笑)。

東北6県の青年部が集まり、互いに意見を交わし、交流を深める機会は決して多くありません。そのような貴重な時間を共有し、多くの学びや刺激を得られたことを大変嬉しく思います。

来年の開催地は秋田県です。秋田の地で皆さんと再会し、さらに交流を深められることを楽しみにしています。



第56回

東北ろうあ者体育大会

青年部
だより

六月二十日(土)から二十一日(日)まで、福島県福島市で行われた東北ろうあ者体育大会に行ってきました。
青年部五名でソフトバレーボールに参加しました。



ボーリング組と一緒に集合写真！



今年は強敵な山形チームと新たな福島チームの試合が最強すぎて、去年と同じビリにならないように頑張つて六位。四十肩の痛みがソフトバレーのおかげで治りかけてます。 thanks.
来年の開催地は岩手県なので、選手候補をたくさん呼びかけて上位にいけるように頑張りたいと思います！

(芳賀 智美)

初めて東北ろうあ者体育に参加しました。ソフトバレーボールを通して、東北各県の参加者と交流ができてよかったです。また、福島県と山形県のプレーが大接戦でした。

(千葉 妃菜)

久しぶりに福島県福島市へ行きました。雨降らないことを願っていたけど、一日目の夜から雨。試合してみても、一日目はあんまりでしたが、二日目は二勝取れたこと、ソフトバレーなのにボールを蹴つてサッカーになつていたことが一番面白かった笑。六位という結果になったが、前回より良い試合ができたと思った！

(中村 輝月)

今年三回目であるソフトバレーに参加した。バスとアタックで力を入れすぎちゃいました。東北各県チームの参加者が多かったので、来年の開催地である岩手では、選手をたくさん集めたいです。あと、福島駅周辺のグルメも美味しかったです。

(昆野 海翔)

一日目は、勝てそうで勝てない試合が続く、なかなか苦戦。二日目は、得意のサーブで点をとにかく奪つて、奪つて、ようやく一勝。最後の試合も最後まで気が抜けない展開でしたが、なんとか勝利。トータルで二勝することができ、ひとまず安心しました。

(松森 玲奈)

【お悔やみ】

故 北 節子 様(一関支部会員)

2026年7月21日の新聞に北節子さんの訃報が載っていました。93歳でした。北節子さんは俳句が趣味で本を出したこともありました。おしゃべりが好きな方でした。



ご冥福をお祈りいたします。



聴覚障害者災害救援基金のあたたかいご協力・ご支援を
よろしくお願いいたします。

熊本・千葉の被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

7月28日に熊本県で発生した震度7の地震により、人的・物的被害が大きくなっていました。

7月は、とても猛暑の中、停電・水もなく、大変なこと・辛さに心が痛みます。

また、千葉県では、8月13日夕方から14日朝までの記録的な大雨となり、車内に閉め込められたり、停電等が起こったりのニュースを見て、とても心配になりました。

自然災害はいつ起こるかもわかりません。

千葉県大雨災害の様子のとおり、万一車が動かなくなった場合の脱出方法等を皆さんも頭に入れておいて欲しいと思います。

◆ 9月 行事予定 ◆

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				定休日		
6	7	8	9	10	11	12
				定休日		
13	14	15	16	17	18	19
第2回理事会 一関市				定休日		三専門部 研修会
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日	定休日		
27	28	29	30			

◆◆ **会員及び賛助会員の皆さまへ** 財政部からのお知らせ ◆◆
 令和8年度会費の納入を早めにお願ひ申し上げます。
 よろしくお願ひいたします。



当事務所は、長いお盆期間は初めてでした。
 皆さんはいかがでしたか。

もう秋らしくなるだろうと思いましたが、なかなか残暑厳しく蒸し暑い日が続いていますね。
 もうすぐ東北ろうあ者大会。あと1ヶ月と迫っています。
 たくさんの参加をお待ちします。

月刊

購読料(年間・郵送料共) 2,500円・1部 250円
(会員の購読料は会費の中に含む)

郵便振替口座 02370-5-5814

会報 いわて

編集・発行  一般社団法人岩手県聴覚障害者協会

この会報は岩手県福祉基金の助成を受けて発行しています